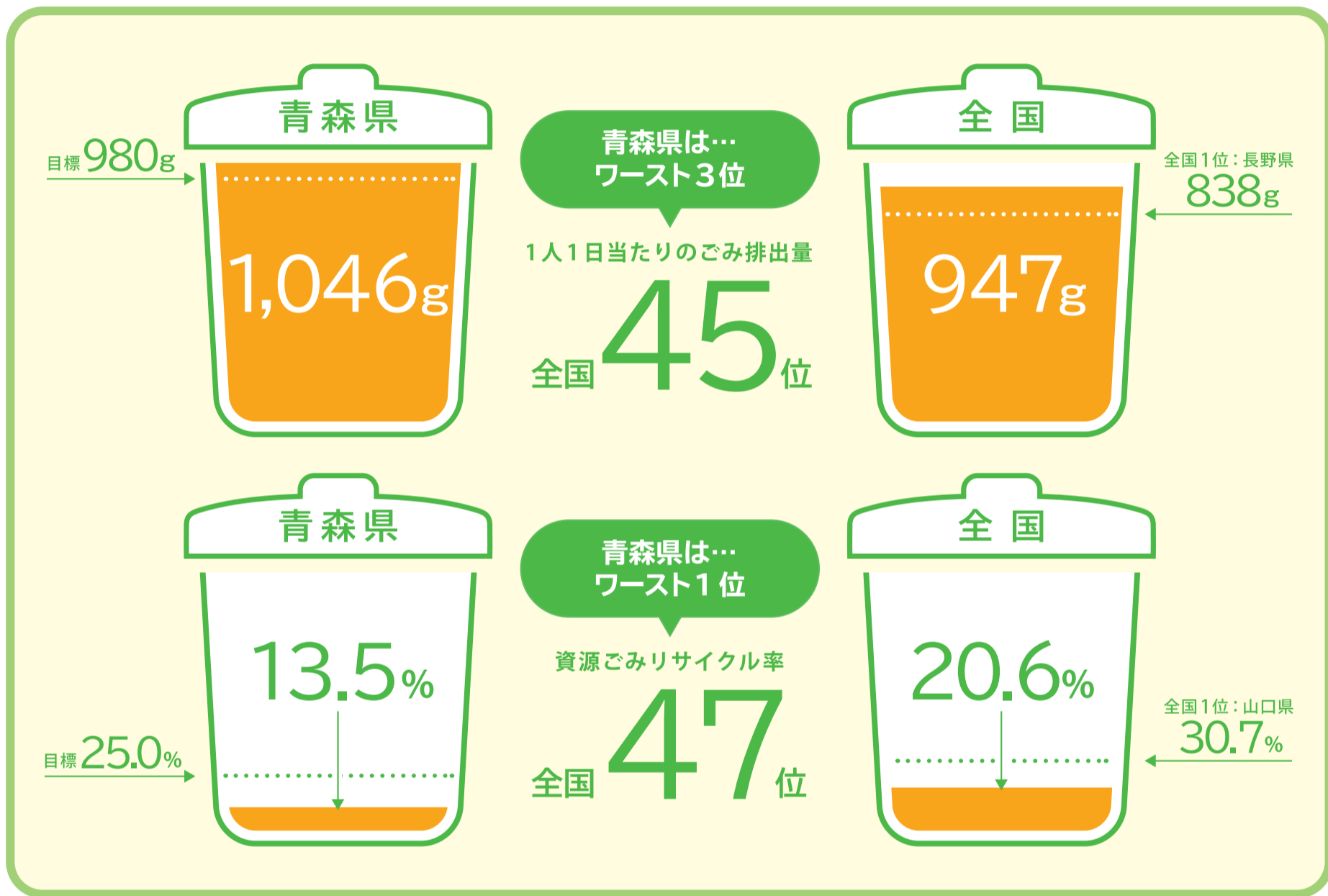


青森の環境のために みんなで考えよう!

ごみを減らすために



ごみが増えたら 何が問題なの？

青森県は、ごみが多く、リサイクル率は最下位！

青森県内の家庭や職場から出るごみの量を、1人1日当たりで換算すると1,046g(平成26年度)。これは、全国値よりも多く、都道府県順位で全国ワースト3位です。その内訳を見ると、家庭から出る「生活系ごみ」、会社や学校などの事業所から出る「事業系ごみ」ともに、全国値を上回っています。

一方、資源ごみとして活用されたリサイクル率は13.5%(平成26年度)となっており、全国最下位という状況です。つまり、青森県民は、資源として生かせるものをきちんと分別せず、家庭や事業所で毎日多くのごみを排出しているということになります。

もし、このままの状態が続くと、下記のように私たちの生活にさまざまな影響が及んできます。豊かな自然環境に恵まれた青森県を次世代の子どもたちに引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが「もったいない」という意識を持って、ごみの減量とリサイクルに取り組んでいく必要があります。

問題1 天然資源の枯渇

私たちの身のまわりにあるものは、限りある資源で作られています。また、ごみを処理する際にも、石油などの貴重なエネルギー資源が使われています。

問題2 地球の温暖化

ごみを燃やす時には、温室効果ガスである二酸化炭素が発生します。温室効果ガスが増えると地球温暖化が進み、地球環境にさまざまな影響を及ぼします。

問題3 最終処分場の逼迫

燃やせないごみなどは、最終処分場に埋め立てられますが、その許容量には限りがあります。新たに最終処分場を造るためには、多くの費用がかかります。

問題4 ごみの処理に使われるのは税金

ごみ処理にかかる費用は、税金でまかなわれています。ごみの排出量が多く、リサイクル率が低い青森県の一般廃棄物処理経費は、全国値を上回っています。